

住み慣れた地域で
安心して暮らしていけるように

認知症 コラム

【第4弾】
認知症初期集中支援
チームって？

住み慣れた地域で 暮らせるように 寄り添います

「認知症初期集中支援チーム（以下、支援チーム）」とは、市町村が設置する機関で、認知症サポート医（町内医療機関に4人おられる内の2人が在籍）と、医療や介護の専門職（看護師、保健師、理学療法士、社会福祉士、介護支援専門員など）で構成され、認知症の早期発見と早期対応をめざして、活動する認知症支援の専門チームです。

認知症の疑いがある方や認知

症のある方の自宅を訪問して、心配事や困っていることを伺い、今後の対応について本人や家族と一緒に考えます。また、必要があれば医療機関の紹介や介護保険サービスに関する利用支援や情報提供などを行います。

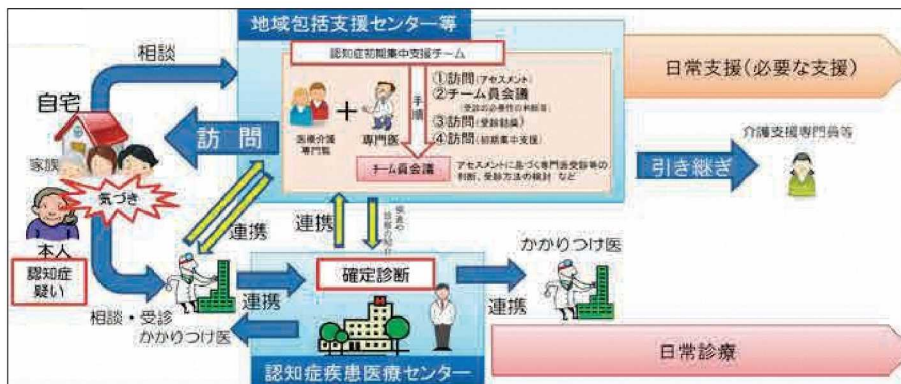
早期に気付いて関わりを持つことで、認知症とともに今後も住み慣れた地域で暮らせるように寄り添います。

支援チームの対象となる方

在宅で生活している40歳以上の方のうち、認知症の疑いがあるまたは認知症の診断を受けておられ、次の項目に該当する方。

- 適切な医療や介護を受けていない方、または利用を中断している方
- 医療や介護を受けているが、認知症の症状が悪化し対応に悩んでいる方、または家族

右記の基準をもとに、支援チームの対象になるかを判断しています。



出典：きょうと認知症あんしんナビ「認知症初期集中支援チーム支援フロー」を加工

認知症は誰でもなりえるもので、特別なものではありません。少しでも違和感があれば、一人で抱え込まずにささいなことで

も相談してください。適切な医療や周囲の関わり、ちょっとした生活の工夫で、より穏やかに生活を送ることができます。

認知症セミナーの開催

ー 認知症になってもならなくても、自分らしく幸せに暮らせるまち与謝野町ー

日時 9月27日（土）

午後1時～4時 ※参加無料

会場 野田川わくくぼる

対象者 町内在住または在勤の方

定員 先着250人（申込必要）

内容

● パネルディスカッション

● 映画上映「ケアニン」あなたでよかったー

● 若年性認知症写真真家・京都府認知症応援大使の下坂厚氏写真展

問・申 9月12日（金）までに、オンラインまたは福祉課（☎

43・9021）へ。なお、配慮事項（要約筆記

など）は、申し込みの際にお

伝えください。

申し込みフォーム



申し込み
フォーム

問 地域包括支援センター（福祉課内） ☎ 43-9021